

# WUB Tokyo NEWS

## No. 9 2010.5.16

発行 / WUB 東京 広報委員会

発行責任者 / 平良 智広

WUB 東京 連絡先

〒154-0001 東京都世田谷区池尻4-38-8-401

昭和生化学株式会社 内

FAX 020-4623-5326

URL <http://wubtokyo.com>

E-mail [mail@wubtokyo.com](mailto:mail@wubtokyo.com)



### INDEX — WUB ネットワーク会議報告 —

- WUB ネットワーク会議出席報告 — 菅原 律子
- WUB 東京 2 月例会のご報告 — 平良 智広
- WUB 東京 フラッシュバック  
(08年11月～10年4月)
- 情報発信掲示板 — 新入会員紹介 / 編集後記

## WUB ネットワーク会議出席報告

WUB 東京 理事 菅原 律子

2009年8月27日から8月29日にかけて米国 LA で行われた WUB-NW (ネットワーク) 会議に出席し、同時開催の北米沖縄県人会100周年記念祝賀式典にも参加しましたので、ご報告いたします。

### ● WUB-NW 会議

#### 1. 会長挨拶と WUB-NW 役員のご紹介 — 牧志会長

・挨拶

ブラジル与那嶺さんから引き継いで初めての会議だが、インフル、経済不況の影響で取りやめも検討した。しかし、北米の皆さんのお陰で開催ができた。クルージングでの世界大会が叶わず、各国支部から「残念」との声が届いた。

・役員紹介

金城シロー氏 (WUB ブラジル、今回は代理で与那嶺真次氏が参加)

ロイ・新垣氏 (WUB ハワイ)

#### 2. 書記から前理事会会議の議事報告 — 与那嶺真次氏

2009年9月5日に慰霊碑の落成式を予定。ブラジル県人会と WUB ブラジルの協力による。沖縄県からの支援もあった。

#### 3. 会計報告 — 知念ダニエル氏 (ロバート・仲宗根氏が代理報告)

・会計報告、2008年に「WUB ネットワーク」に名称を変更したことの説明、会費を支払った支部を正式メンバーとする報告、収支計算の説明。

・WUB-NW 理事会会議への出資を通常の \$500 から今回に限り \$1,000 に変更する件の投票、新会計の選任 (新任はバーバラ

前城氏、前任の知念ダニエル氏帰沖の為)。

#### 4. WUB 奨学金についての報告 — ロバート・仲宗根氏

・寄付金が \$100,000 集まり、そのうち、5% とその他利益分を合わせて \$10,000 を奨学金に充て、南米各 1ヶ国に年 1回は予定したい旨の報告。



100周年記念祝賀式典にて沖縄や在米の参加者と

・2008年(ペルー 1名<メリー仲田さん>)、2009年(ブラジル 2名<マーベン上原さん \$6,500、ダニエルさん \$6,500>) 奨学金実施の報告。

・2010 年度の奨学金予算は、不景気で利息が予測より 15% 目減りするので、ハワイ東西センターが半分、WUB が半分の負担を予定する件の報告。

・寄付金を現在の \$100,000 から、将来 \$200,000 に増額する旨の説明。

#### 5. ウチナーグチスペイン語の辞書作成プロジェクトの報告 — ロバート・仲宗根氏

#### 6. WUB からハワイ大学沖縄研究会への寄付金増額の報告 — ロバート・仲宗根氏

#### 7. 2010年と2013年の WUB ネットワーク会議についての説明 — 牧志会長

・世界不況はまだ先が見えないので、当面の対応として、WUB 会議+ウェルカムパーティーという形を考えたい旨の説明。

・第 14 回 WUB-NW 会議についてはシンガポールや香港の候補も出たが、2011年、2010年と 2年続きのアジアでの開催は

主に南米からの参加が大変なので、2010年は北米 (候補: アトランタ、ワシントン DC、ニューヨーク) 開催で検討する旨の説明。

・第 15 回 WUB-NW 会議 & 第 5 回世界のウチナンチュ大会は沖縄県での開催が決定。

・第 16 回 WUB-NW 会議は各地の県人会イベントを確認中。

・2013年の予定について — 赤嶺光弘氏

2013年第3回世界ウチナンチュ会議はペルーでの開催が決定。

第17回 WUB-NW 会議はペルーでの開催が決定。

#### 8. 各支部からの報告 — 各支部会長または代表

・各支部からの世界同時不況と新型インフルの影響、及び活動 (人数) の報告。



WUB-NW 会議は 7 支部 19 名が出席、今後の活動など議論が行われた

WUB ネットワーク会議・北米沖縄県人会 プログラム

- 8月27日  
WUB-NW ゴルフ (Trumps golf course)  
19:00 - 21:30  
北米沖縄県人会 前夜祭 (TORRANCE Holiday Inn)
- 8月28日  
09:00 - 12:30  
WUB-NW 理事会 (TORRANCE Holiday Inn)  
14:00 - 16:00  
WUB-NW ミニコンファレンス (TORRANCE Holiday Inn)  
19:00 - 22:00  
北米沖縄県人会 沖縄ミュージカル (Redond Beach Art Center)
- 8月29日  
11:00 - 15:30  
北米沖縄県人会 100周年記念祝賀式典 (TORRANCE マリオットホテル)  
19:00 - 22:00  
WUB-NW フェアウェルパーティ <WUB-NW 会議終了後の記念会>  
(Redond Beach "Baleen Los Angeles Restaurant")

●ミニ・カンファレンス

3名の方から挨拶・講演がありました。ロバート仲宗根氏 (WUB-NW プレゼン)、Dr. Wesley Ueunten (第二次大戦後のアイデンティティに関する講演)、Mayor. Mike Gin of Redonde Beach (糸満市との姉妹都市提携プレゼン)。ロバート・仲宗根氏の挨拶を紹介していきます。

この10年を振り返ってみて、「Where is Okinawa?」と言われた小さな沖縄が、今は世界中に広がっている。



フェアウェルパーティ

ハワイには、デイゴ会という村人会の人たちの協力組織があり、その強力なバックアップが1995年のウチナワンチュ大会第一回開催に繋がっていきました。WUBは“WUB



プレゼンするR. 仲宗根氏/ミニコンファレンス

ネットワーク”になりました。もっと多くの人たちに参加をしてほしい。「いざ行かん 我らの家は五大陸」

● WUB-NW フェアウェルパーティ

会議終了日に、レドンドビーチ市で記念会としてフェアウェルパーティが催されました。会場のレストランはラウンジバーの雰囲気であらゆる暖炉前にいくつかソファコーナーがあり、寛いだ雰囲気の会場でした。参加者は約30名で、今回ネットワーク会議からオブザーバー参加した琉球大学の学生も、卒論で「沖縄県系人のネットワーク」をテーマにしているとのことで取材参加をしていました。

特にショウウやアトラクションもなく、世界大会フィナーレのような華やかさはありませんでしたが、その分じっくりと参加メンバー同士が語り合うことができ、ネットワーク会議フェアウェルパーティに相応しいものでした。

WUB東京 2月例会のご報告

WUB東京 会長 平良 智広

●パネルディスカッションの概要

日時： 2010年2月24日(水)  
場所： 六本木シンフォニーサロン  
テーマ： 南米移民の過去、現状と今後について  
<パネリスト>

- ・厚生労働省 職業安定局 外国人雇用対策課長 山田 雅彦 様
  - ・文部科学省 大臣官房 国際課専門官 井上 睦子 様
  - ・社団法人日本ポリビア協会理事、WUB 東京 名誉会長 長嶺 爲泰
  - ・株式会社友善電設 代表取締役、WUB 東京 監事 知花 弘和
- <コーディネータ>  
WUB 東京会長 平良 智広



1954年、11歳の時に那覇を出航、インド洋・南大西洋を横断してブラジルのサントス港へ。貨車・トラックでうるま移住地に到着。約2ヶ月の長旅の終わりであり、移住地の新たな歴史の始まりです。



ジャングルの中に放り込まれ、家も食料もなく、過酷な自然と戦いながら必死に原生林開拓に挑みました。水不足も深刻で、井戸は塩水、それでも飲まざるを得ないこともありました。最初の1週間は下痢に悩まされたが、不思議なもので徐々に慣れてきました。また、うるま病と呼ばれた高熱を発する病がはやり、多くの方が亡くなりました。一番つらく苦しい時期でした。

今振り返ると、多くの問題にぶつかりましたが、みんなが団結し、必死になって困難を乗り越えたことにより、今のコロナ・オキナワの発展へとつながったのだと思います。うるま病で九死に一生を乗り越え、命の尊さを体験、生きている事に感謝しています。

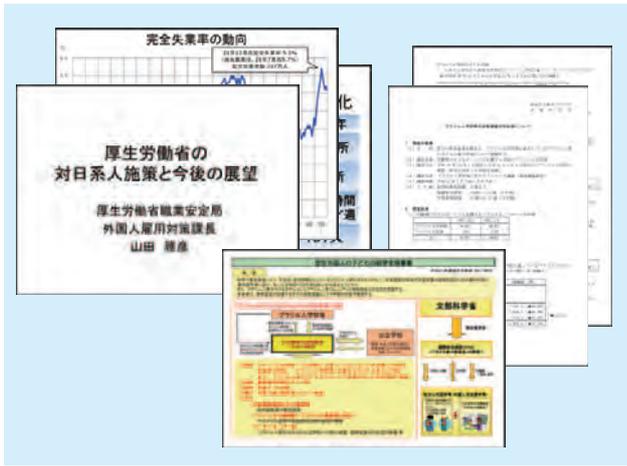


左から平良、長嶺、知花

〔C〕(コーディネータ、以下「C」) 山田様と井上様は南米移民と関わりのあるお仕事をされております。山田様は、沖縄勤務のご経験があり、井上様は沖縄県出身のラテン歌手平良ゆきさんの大ファンとのことです。長嶺さん、知花さんは、南米移民のご経験をお持ちです。今回、色々な話をお伺いできればと思っています。

●南米の移住経験について

〔C〕 まず始めに、長嶺さん、知花さんのポリビア移住経験をご紹介いただけませんか。  
〔長嶺〕 当時は戦後で貧しく、南米にあこがれていました。



ご提供いただいたディスカッション資料

【知花】私は1960年に16歳で移住しました。新たな開拓地です。家族単位でジャングルを自ら切り開き、自給自足の生活でしたが兄弟や従兄弟連中も一緒でしたので、厳しいながらも楽しい貴重な体験でした。

1967年頃コロンビア沖繩の管轄が琉球政府ポリビア駐在事務所から海外移住事業団に変更となりました。事業団には井戸を掘っていただいたりと色々支援いただき、大変助かりました。

1971年、各農業組合を統合したコロンビア沖繩農牧総合共同組合(CAICO)が設立されました。この頃から発展が軌道に乗り始めました。1979年には、沖繩から知事も来訪し、入植25周年記念が盛大に開催されました。大きな困難を乗り越え、ここまで発展できたことを改めて嬉しく思ったものです。

### ●現在の在日日系人の雇用状況について

【C】1950-60年代はまだ日本も貧しく、南米にあこがれたわけですが、1980年代に入ると南米は深刻な不況となります。

一方、日本はバブルを迎え、労働力不足となりますが、それに代わったのが南米の日系人になります。では、山田様、現在の在留日系人の就業状況



左から山田様、井上様

について、教えていただけないでしょうか？

【山田】では、日系人の雇用状況に関してご説明します。

経済の国際化に伴い、日本で就労する日系人は増加しておりますが、最近の世界不況を受け、厳しい雇用状況が見られます。そのため、2009年度より、日系人を対象に、日本語能力向上、労働法令、雇用慣行、労働・社会保険制度等の研修を実施しています。ハローワークでは通訳の配置やワンストップサービスの提供等を図っています。

また、昨年4月から、帰国を決意した日系人に対し、一定額の帰国支援金を支給する日系人離職者支援事業を本年3月まで実施してきました。この1月5日までに、約1万7千人分の申請があり、帰国を希望しつつも、費用が工面できない方の切実な要望に応えることができたと考えています。

### ●教育環境の状況

【C】山田様、ありがとうございます。欧州では帰国奨励策の効果がなかなか出ないと聞いたことがありますので、多くの申請があったのは驚きです。さて、今度は在日日系人の子どもたちの教育環境の状況について、井上様、教えていただけますでしょうか。

【井上様】では、在日ブラジル人の子供たちの現状について説明します。

現在の景気後退により日系人の帰国が増えていますが。学校数は2010年2月現在で84校、うちブラジル政府認定校53校、日本の各種学校の認可を得ている学校は11校。2008年の93校をピークに減少しています。

帰国後のケアも大事であり、サンパウロ州政府と教育文化連帯学会(ブラジル三井物産基金支援)が連携して帰国子女支援を行っており、三井物産等が主催して在日ブラジル人に紹介しています。

日本の地方公共団体においては、担当教員の配置、母語を話せる相談員の派遣、拠点校等の設置、研究協力校の指定、就学・教育相談窓口の設置、保護者用就学ガイドブックの作成、就学案内の発給などの施策を行っています。

また、文部科学省では、日本語指導義務教育諸学校教員の給与3分の1の国庫負担、日本語教育の非常勤講師配置、教員へ日本語指導法研修、就学ガイドを7言語で作成、就学促進モデル事業、日本語能力測定や教員研修マニュアルの開発、地域の実践事例の集約等の施策を行っています。

私は、4月からブラジルの日本大使館に赴任する予定です。日本に多数のブラジルの子どもたちがいることを現地の関係者に伝え理解を深めることと、今後のブラジルの発展に日本の科学技術が貢献できることを伝えたいと考えています。

【C】文科省からブラジルの日本大使館への派遣は初めてとお聞きしております。日伯の架け橋として活躍されますよう祈念しております。山田様、井上様、長嶺さん、知花さん、今日は、ありがとうございます。

### ●懇親会

【C】イナンナの会とのご縁で、ユキーズドアの竹居さんに飲食デリバリーをお願いしたのですが、ブラジルの豆煮込み料理であるフェイジョアードも作っていただき大好評でした。またブラジルのお酒のピンガーもあり大いに盛り上がりました。

(^^) / \ (^^)



ご参加者いただいた皆さん

**2008年《12月》** 6日／ビジネス検討会開催。2008年7月から3回に渡って実施。WUB東京会員の有志によるビジネスの検討を行いました。実験的な試みであり、将来的に



WUBメンバーでビジネスを立ち上げてみたいですね。

11日／東海大学校友会にて。忘年会開催 来年は良い年でありますように！との願いで乾杯しました。

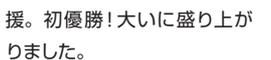
**2009年《3月》** 14日／WUB東京10周年記念行事として屋形船に乗船。1989年のWUB東京設立から早10年。メンバーが変わったり、東京大会を開いたり、各地の世界大会に参加したりと色々話に花が咲き楽しい夜になりました



た。次の20周年記念が楽しみです。

**《5月》** 9日／理事会。銀座いいあんべーにて。総会準備。

16日 VS 大阪エヴェッサ／17日 VS 東京アパッチの両日、プロバスケットボールチーム琉球ゴールデンキングスを応援。



援。初優勝！大いに盛り上がりました。

27日／東海大学校友会にて。総会開催。議案は満場一致で採決されました。



**《6月》** 13日／故湧川ふき子さん偲ぶ会（於：東海大学校友会館）へ列席。多くの方が甲冑され故湧川さんの人望が偲ばれ



ました。こころよりご冥福をお祈りいたします。

**《8月》** 12日／理事会。沖縄



## WUB東京 フラッシュバック 《08年11月～10年3月》

ツーリスト会議室にて。WUBネットワーク会議他について。27日～29日／WUBネットワーク会議および北



米沖縄県人会100周年記念行事にWUB東京からは代表で菅原理事が参加。新型インフルエンザや経済不況の直撃が影響し、WUB世界大会が中止となってしまいました。早期の景気回復が望まれます。



**《11月》** 7日／理事会。銀座いいあんべーにて。忘年会準備。WEBマスターの高宮城さんが「WUB東京10周年を振り返る」を企画立案。どんなイベントになるか？楽しみですね。？

**《12月》** 2日／東海大学校友会にて。忘年会開催。プロジェクターを使用し、「WUB東京10周年を振り返る」

を企画。展開される膨大な写真資料の前で皆さんの思いの歴史を語っていただきました。

WUBは多種多様の職業の方々が集う会ですが、忘年会では会員がゲストをお呼びするこ



とを推奨しており、様々な方との新鮮な出会いがあります。

**2010年《2月》** 24日／例会。六本木シンフォニーにて。南米と関わりの深い4名をパネリストとしてお呼びし、平良会長がコーディネーターを務めました。政治・教育・文化・歴史という様々な分野に話が展開され



ていきました。単発の企画ではなく続編を行いたい内容でした。この例会では初めてケータリングによる飲食サーブを実施し、一部南米料理を取り入れるなど雰囲気盛り上げました。

### ■新入会員紹介



**近藤 ゆうな** (ちゅうゆーな株式会社代表取締役)

沖縄の離島、伊是名(いぜな)漁業協同組合の正規販売代理店として初めて

関東を中心に伊是名産沖縄モズクを始めとして、海ぶどう等、伊是名漁業協同組合特産品の卸、販売を行っております。

私は福島県出身ですが、現在 WUB東京会員である父(名嘉幸照)は伊是名島出身です。

父に以前から東京を中心にグローバルで活動を行っている WUB が、会員の皆様それぞれが異業種であっても同じウチナンチューということで、他では得られない人脈、親睦、情報収集が出来るとても魅力的な組織であることを聞かされておりました。WUBを通じて、もっと沖縄の文化、産業、本土との関係を学び、私のビジネスが少しでも沖縄産業の発展に貢献出来ればと思っております。

今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお祈りいたします。

### 情報発信 掲示板

### ■編集後記

2月例会が終わり総会が近付く中で、ふと、えーくのことが気に掛かり、会長に「今年度はえーくは見送りですかねえ」と声をかけると、「いや、発行しないとだめですよ」との仰せで、急遽、準備態勢に



入った。

日にちもなく、編集委員を募る日程もままならないので、WUB東京お家芸のメール作戦に出る。総会を睨み、スケジュールをバックワードで一方向的に決め、編集委員の募集～テーマの決定～テーマ毎の適任者の割り振り～原稿作成依頼を、全てメールで敢行する。作成担当の交代等もあり、入稿状況は必ずしもオンタイムとは行かなかったが、テーマ数が少なかったため、何とかインタイムで発行に漕ぎ着けた。

初めての「メールベース編集」という試みだったが、何はともあれ、総会に間に合っただけ。(小畑)

会員の皆様からの近況報告やイベントや商品等の告知、ご意見等をお待ちいたしております。どしどしお寄せください。